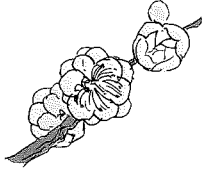


# 会員寄稿

## 測量設計業界に入って感じること



株式会社新日本コンサルタント

設計計画本部水環境部 坪川 朱里

### 1. はじめに

石川県の大学を卒業後、2013年に新卒で株式会社新日本コンサルタントに入社し、5年目になりました。

大学では土木建設工学を通じ、安心して暮らせるまちづくりに興味を抱き、インフラ整備に携わることができる建設コンサルタントへの就職を決めました。

入社当初は、農業土木分野の業務を中心に携わっていましたが、現在は河川や海岸など新たな分野の業務にも従事し、幅広い知識の大切さを痛感しています。

地元である富山に本社を持つ当社で、インフラ整備を通して地域貢献に対するやりがいを感じつつ、国内外での小水力発電事業にも携わり、事業者として計画から施工までを行う難しさや面白みを感じています。

### 2. 仕事を通じて感じること

1～3年目頃までは、上司や先輩のご指導のもと、目の前の仕事を必死にこなし、業務を完了することが目標となっていました。しかし現在では、設計に携わっていた施設の工事が完了し、運用されている現場を見る機会が増え、業務完了時の達成感とは違った喜びを感じます。自治体などの顧客からの信頼と、施設を利用するエンドユーザーの方々にとって安心と安全を体感いただけるような設計を心掛けねばならないと身の引き締まる思いです。

現在は、浸水想定区域図作成業務に携わっています。既往の資料や現地踏査により条件を設定し、河川の氾濫解析を行い、浸水が想定される範囲を図面に描きます。設計対象が河川の流域全体に及び、この業務で作成された浸水想定区域図を元に各市町村で洪水ハザードマップが作成されます。これまで携わっていた設計業務よりも対象範囲が広くなり、地域住民の皆様の安全を守ることに直結するため、より一層責任を感じます。解析では、基本的なアルゴリズム

を理解し、解析結果を考察・分析するため、多くの経験が必要と感じていますが、1つ1つを積み重ね、しっかりと説明できるスキルを身に付けていきたいです。

### 3. 女性技術者として

近年、女性の社会進出の動きが強まっている中、業界内でも多くの女性技術者の方が活躍し、当社でも徐々に女性技術者が増えつつあります。

私事ではございますが、昨年11月に結婚し、早1年が経ちました。結婚を機に、勤務地を富山本社から金沢支店へ移させて頂き、同僚の皆様のご配慮と夫の理解のお陰で、段々と家庭との両立にも慣れてきました。仕事と家庭のどちらにも責任を持つことは苦労もありますが、社会人としても妻としてもやりがいを感じることができ、嬉しく思います。

今後出産や子育てといった生活の変化があった際、今と同じように働けるのかという不安はありますが、当社では産休や育休、時短勤務などの制度が整っています。まだ実績は少ないですが、こういった社内の制度を活用しつつ、自分が後輩や他の女性技術者の1つのモデルケースとなり、女性の活躍の場が広がるきっかけとなればと思っています。

### 4. 将来の展望

これまで、業務の進め方やコミュニケーション等、基本的な仕事のやり方を身に付けてきました。今後は、女性ならではの柔軟さやきめ細やかさを活かし、自分の個性や知識を反映させた設計、提案ができる技術者を目指していきたいと思っています。

当社では、首都圏への事業エリアの拡大や小水力発電事業での海外進出など、常に成長し続けています。このような幅広いフィールドでの経験も積みながら、しっかりと地域へフィードバックできるように、日々研鑽に努めていきたいと考えています。